

平成25年3月13日

1. 出席議員

1 番	中 村	一 堯	9 番	徳 村	博 紀
2 番	稲 富	雅 和	10 番	福 井	正
3 番	勝 屋	弘 貞	11 番	水 頭	喜 弘
4 番	竹 下	勇	12 番	橋 爪	敏
5 番	角 田	一 美	13 番	中 西	裕 司
6 番	伊 東	茂	14 番	松 尾	征 子
7 番	松 本	末 治	15 番	松 尾	勝 利
8 番	光 武	学	16 番	橋 川	宏 彰

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	谷 口	秀 男
局 長 補 佐	中 尾	悦 次
管 理 係 長	西 村	正 久

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	樋	口	久	俊
副	市	北	村	和	博
教	育	江	島	秀	隆
市	民	迎		和	泉
産	業	中	川		宏
建	設	平	石	和	弘
環	境	中	村	博	之
部	長				
部	長				
部	長				
部	長				
兼	會				
會	計				
課	長				

平成25年3月13日（水）議事日程

開議（午前10時）

日程第1 意見書第1号 TPP交渉参加に反対する意見書（案）（質疑、討論、採決）

午前10時 開議

○議長（橋川宏彰君）

おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元の日程表どおりといたします。

日程第1 意見書第1号

○議長（橋川宏彰君）

それでは、日程第1．意見書第1号 TPP交渉参加に反対する意見書（案）についての審議に入ります。

提出者を代表して、意見書（案）の朗読を求めます。7番議員松本末治君。

○7番（松本末治君）

意見書第1号

TPP交渉参加に反対する意見書（案）

安倍晋三首相は、オバマ米国大統領と首脳会談を行い、共同声明を発表した。共同声明の内容は、日本の農産品について、「配慮すべき品目」の存在が認識されているが、関税撤廃対象からの除外が確認されたわけではなく、TPPの特徴である「聖域なき関税撤廃」を前提にしたものとしか理解できない。

TPPは農業問題だけでなく、食の安全・安心、医療、保険、ISD（国家と投資家間の紛争解決）条項など、国の形を変える重要な内容を含むものとして、これまで本鹿島市議会を初め、全国では8割を超える都道府県議会、市町村議会で反対ないし慎重な対応を求める意見書が採択される中、こうした声をないがしろにし、TPPに参加した場合の分野毎のメリット・デメリットに関する政府統一試算もなく、政府が拙速に交渉参加を判断すれば、国益を損なうことにつながる。

例外なき関税撤廃を原則とするTPPは、食料供給を海外に依存し、国土を荒廃させるものであり、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではない。

今回の日米首脳会談における協議内容は、国益の観点から、政府・与党を挙げて慎重に精査を行い、その内容を国民に開示するとともに、国民的な議論を十分に尽くすべきである。

よって、本議会はTPP交渉参加に慎重な対応を求めたところであるが、この情勢に鑑み、

改めてT P P交渉参加反対の意思を表明する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月13日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣	安倍晋三	様
衆議院議長	伊吹文明	様
参議院議長	平田健二	様
総務大臣	進藤義孝	様
外務大臣	岸田文雄	様
厚生労働大臣	田村憲久	様
農林水産大臣	林 芳正	様
経済産業大臣	茂木敏充	様
内閣官房長官	菅 義偉	様
経済再生担当大臣	甘利 明	様

以上、意見書（案）を提出する。

平成25年3月13日

鹿島市議会議員	中村一堯
〃	稲富雅和
〃	勝屋弘貞
〃	竹下 勇
〃	角田一美
〃	伊東 茂
〃	松本末治
〃	光武 学
〃	徳村博紀
〃	福井 正
〃	水頭喜弘
〃	橋爪 敏
〃	中西裕司
〃	松尾征子
〃	松尾勝利

鹿島市議会議長 橋川宏彰様

○議長（橋川宏彰君）

直ちに質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（橋川宏彰君）

質疑を終わります。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（橋川宏彰君）

討論を終わります。

採決します。意見書第1号 TPP交渉参加に反対する意見書（案）については、これを提案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（橋川宏彰君）

起立全員であります。よって、意見書第1号は提案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は終了いたしました。

これにて散会いたします。

午前10時6分 散会